

第1回 瑞穂町多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり検討委員会

議事要旨

1. 日 時 令和7年5月13日（火）10時30分～12時00分

2. 場 所 瑞穂町役場1階 ホール

3. 議 事

（1）委員長及び副委員長の互選について

（2）現状等について

（3）今後の検討委員会の開催について

（4）その他

4. 委員からの主な意見

- ・ 産業近代化拠点を作る上で明確なビジョンやコンセプトが必要。
- ・ デジタル技術の導入につながるような拠点として、さまざまな産業の交流や起業家の支援など、まちの産業を後押し活発化させる施設のイメージ。
- ・ モノレール沿線の大学と連携し、学生たちを呼び込むことも期待できる。
- ・ 農地は、まち中の緑やコミュニティづくりなど多面的機能を持ち合わせている。
- ・ 町の農業振興につなげるという視点も含め、土地利用を考えることが大事。
- ・ 施設を通じて、次世代を担う人材育成の要素も取り入れた方がよい。
- ・ 企業誘致できれば、雇用も生まれ、人口増にもつながり、税収も入ってくる。
- ・ にぎわいをどこに持たせるのか考えなければいけない。
- ・ モノレール沿線だけではなく圏域を捉え、その全てがビジネスフィールドという考えの下、企業と連携して、この拠点を応援してもらう流れを作りたい。
- ・ 町民にも議論に参画してもらう機会を作ってほしい。